

19. 当院における誤嚥性肺炎の現状

研究の概要

近年の高齢化に伴い、高齢者の救急搬送件数は増加の一途をたどっていますが、その中でも誤嚥性肺炎が占める割合は小さくありません。今回、当救命救急センターに救急搬送された誤嚥性肺炎患者に関し調査を行い、現状の把握と問題点を抽出することで、これからの肺炎治療をより向上させることを目的とし、観察研究を計画しました。

研究の方法

本研究では、2017年7月1日から2017年12月31日までの半年間に、国立病院機構熊本医療センター 救急外来に受診された15歳以上の患者様のうち、肺炎の診断で入院となった方を対象としています。日常診療で得られた臨床データ（年齢、性別、肺炎分類、重症度、入院診療科、病棟、使用抗生剤、施行した検査、合併症、入院期間など）を電子カルテから集計します。

本研究の参加について

これにより患者さんに新たな検査や費用の負担が生じることはありません。また、研究で扱う情報は、個人が特定されない形で厳重に扱います。皆様の貴重な臨床データを使用させていただくことにご理解とご協力をお願いいたします。本研究にご自身のデータを研究に使わないでほしいと希望されている方、その他研究に関してご質問がございます際は、末尾の問い合わせ先までご連絡ください。

調査する内容

本研究は、新たに試料・情報を取得することではなく、既存カルテ情報のみを用いて実施する研究です。研究対象者（患者さん）の個人情報（氏名、住所、電話番号、カルテ番号など）は記載せず、対応表を作成して管理しますので、個人情報は特定されません。

調査期間

調査対象期間：2017年7月1日～2017年12月31日

研究成果の発表

調査した患者さんのデータは、集団として分析し、学会や論文で発表します。また、個々の患者さんのデータを発表するときも、個人が特定されることはありません。

研究代表者

救命救急科 北田真己

当院における研究責任者

救命救急科 北田真己

問い合わせ先

救命救急科 北田真己

TEL: 096-353-6501